

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人 茂原高師保育園
東茂原保育園

1 管理状況

◎保育時間

開園時間	月～土	7:00～19:00
保育標準時間	月～土	7:00～18:00
保育短時間	月～土	8:00～16:00
延長保育時間	月～土 保育標準時間	18:01～19:00
	月～土 保育短時間	7:00～7:59 16:01～19:00

◎職員体制 ※人数はパート職員を含む ※パート職員の数、() 内に表示

園長	1名	及川			
主任保育士	1名	伊藤			
保育士	25名 (8)	田中 米倉 岡本(雅) 小倉 小澤 太田 池野 松野 住吉 柳川 樋口 大岡 大多和 古山 岡田 土屋(育休) 岡本(育休) (水野) (吉野) (安達) (安藤) (大塚) (麻生) (中村) (嘉尾子)			
保育補助	1名(1)	(鈴木(清))			
栄養士	1名	佐藤			
調理師	1名	中村(后)	調理員	1名(1)	(鈴木)
用務員	1名(1)	(岩瀬)	事務員	1名(1)	(篠田)

◎特別保育事業 ・延長保育事業 ・地域子育て支援事業 ・一時預かり事業

◎クラス体制及び利用状況 (定員：120名)

めばえ/0歳児 ふたば/1歳児 いぶき/2歳児

かおり/3歳児 しげり/4歳児 みのり/5歳児

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
定員	6人	39人		75人			120人
令和3年4月	8人	18人	23人	27人	30人	29人	135人
令和4年3月	9人	17人	22人	27人	30人	29人	134人

2 主な修繕・購入

- ・厨房食洗機交換
- ・大型複合遊具、砂場の交換設置

3 年間行事実施状況

4月	・5日/入園式 ・6~9日/慣らし保育 ・12~16日/交通安全指導 ・30日/子どもの日の集い
5月	・こいのぼり製作 ・母の日製作
6月	・更衣 ・時の記念日の製作 ・父の日製作 ・七夕製作 ・5、12日/保育参観
7月	・七夕の集い ・16日/夏祭り（お店屋さんごっこ）
8月	・どろんこ、水あそび ・24日/せんたくごっこ
9月	・1日/防災の日（避難訓練）
10月	・更衣 9日/運動会 ・13日/徒歩遠足 ・29、30日/芋掘り ・26日/焼き芋大会
11月	・1~5日/保育参観 ・17日/記念撮影 ・19日/自衛消防訓練
12月	・9、11日/保育参観 ・23~24日/競技大会 ・23日/クリスマス会
1月	・保育始め ・鬼のお面製作
2月	・3日/節分の集い ・5日/生活発表会 ・ひな祭り製作
3月	・3日/ひな祭りの集い ・お別れ会 ・26日/卒園式 ・28~30日/進級会
毎月実施	・誕生会 ・避難訓練 ・身体計測

- ・体操教室 年長児…毎週 月・木 年中児…毎週 火
- ・英語で遊ぼう 年中・年長児…毎週 木 ・にこにこ保育（異年齢児保育）毎週 水
- ・主食の日/愛情弁当の日 各月1回

4 職員研修

◎内部研修

《初級会議》

- ・初級保育士としての心構え ・嘔吐物の正しい処理の仕方 ・食育ポスター製作
- ・気になる子への対応 ・保育の自己評価 ・夏に多い感染症について ・保護者対応
- ・運動会を経験しての反省 ・冬に多い感染症について・発表会を経験しての反省
- ・1年を振り返っての各自反省・評価、来年度の課題

《中級会議》

- ・水遊び用玩具製作 ・気になる子についての対応 ・童謡の歌詞の意味を知る
- ・保護者対応について ・ヒヤリハットについて ・保育士懇談会について
- ・障がい児、気になる子の背景にあるものについて・保育マニュアルの確認
- ・入園式の進め方 ・1年を振り返って各自反省・評価、来年度の課題

◎外部研修

・長生支会による研修

総会においての講演会 給食講習会 リズム講習会 合同研修会 保育支部会による講習会 (コロナにより中止多数)

・その他、オンライン研修にて参加

法人研修 県保協による研修

・キャリアアップ研修

5 保健実施報告

◎職員の健康診断 35歳以上・・・ジェイコー千葉病院

35歳未満・・・山ノ内病院

短時間パート職員・・・大木医院 その他

◎職員腸内検査 毎月1回行なう(5月～10月/乳児組担当職員と調理関係職員は2回)

毎月月初めに実施

◎園児の健康診断 新入園児：「保育所入所時診断所」の提出

内科検診 年2回 6月17日 11月29日

歯科健診 年1回 6月3日

尿検査 年1回 5月26日

歯科衛生士による歯科指導

5歳児 5月12日 4歳児 10月15日 3歳児 12月3日

◎食物アレルギー児への対応 医師の診断書を基に園長、担任、栄養士、保護者と面談を年1回から2回行なった。

6 評価 及び反省

コロナ禍において保育の安心安全について考えさせられた1年であった。保護者に安心して保育園に預けていただけるにはどうしたら良いのか。

発症したクラスを閉鎖、自宅待機要請、館内の毎日の消毒、職員への行動の制限、マスク着用の義務、行事の縮小等、出来る事で対応してきた。しかし保育園だけで中々防げる物ではなく感染者は少しずつだが出ていた。世間では三密を防ぐと言われる中での保育、私たちの仕事は体と体の触れあいがあったること、職員の安全も守るという問題を抱えながら、保護者については無理なお願いもあったと思うが、新型コロナ感染にしっかり向き合い対応する姿勢を見せてきた。

そんな中でも、行事の取り組みについては、保護者の気持ち・要望、職員への負担を考えながら進め、縮小することはあったが、あまり中止することなく実施することができた。